

雑 録

秋のサナヘトンボ

昨 1939 年の秋 10 月 1 日、東京郊外の石神井三寶寺池の附近で思ひがけなくも、サナヘトンボ *Gomphus* sp. (恐らく *G. melampus* SELYS に當るものであるが、此の種類は近似のもの多く混亂してゐるから決定を見合せる) を捕へた。邦産のサナヘトンボ類は春より夏にかけて出現するものが多く、殊に此の種類は東京附近では 4 月末より現はれて 6 月迄見られるもので、秋に捕れたことは相當珍しいことと思ふ。唯 1 匹であるが勿論新鮮な個體でもであつた。

(朝比奈正二郎)

ヒゲナガガとツツミミノムシ

昆蟲世界第 43 巻第 501 號 149 頁にあるヒゲナガガなるものは第 18 巻にもありて共に *Adelidae* に屬する *Adela optima* BUTLER ヒゲナガガとあるも、此の成蟲を見る時はヒゲナガガとは全く別種のものなり。其の巢の形より「づゝみむ(み)のむし」と呼稱するは當を得たるものなり。因に此の種は河田薫氏の御調査によれば學名 *Hypophrictia capnomicta* MYRICK なる由。(三橋信治)

ホリミモリトンボ

此の種は *Somatochlora gratiosa* BART. の學名にて

- | | | |
|-----------------------|-----|--|
| (1) Hosomi-moritombo | 松 村 | 東北農科大學紀要 IV (1), p. 9 (1911) |
| (2) ホンガタモリトンボ | 小熊澤 | 動物學雜誌, 第 25 卷 p. 447 (1913) |
| (3) ホソミモリトンボ | 同 | 昆蟲學雜誌 1 (1), p. 13; 1 (2), p. 53 (1915) |
| (4) ホソミドリトンボ | 松 村 | 日本昆蟲大圖鑑 p. 1438 (1931) |
| (5) ホソミモリトンボ | 朝比奈 | 昆蟲 第 5 卷 p. 53 (1931) |
| (6) ホソミドリトンボ | 松 村 | 日本通俗昆蟲圖說 5. pl. VIII, f. 1, p. 46 (1933) |
| (7) Hoso midori tonbo | 松 村 | 日本通俗昆蟲圖說 5, p. 67 (1933) |
| (8) ホソミモリトンボ | 奥 村 | 日本昆蟲目錄 第 8 輯, p. 9 (1935) |
| (9) ホソミドリトンボ | 荒川家 | 所藏昆蟲標本目錄 p. 262 (1936) |

と 4, 6, 7, 9 の和名は皆間違にして正しくはホソミモリトンボなり。而して其後朝比奈氏は此の學名を *Somatochlora arctica* ZETTERSTEDT と改められたるにより此の種は下の如くするを可とす。即ち

Somatochlora arctica ZETTERSTEDT ホソミモリトンボ (三橋信次)